

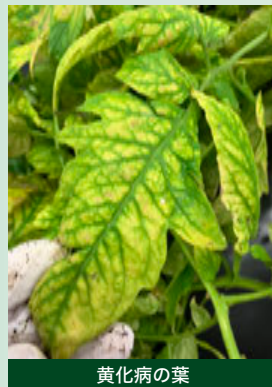
トマトの黄化病(ToCV)検査

〈対象作物〉トマト類

黄化病

- 病原** トマト退緑ウイルス：
ToCV (*Tomato chlorosis virus*)
- 感染** ウイルスを保毒したコナジラミ類が吸汁して媒介する。
- 症状** 下位葉～中位葉の葉脈間が黄化する。えそ斑となる場合もある。進行は緩やかで、マグネシウム(苦土)欠乏等の要素障害に類似する。

主な作物 トマト、ミニトマト



黄化病の葉



黄化病陰性判定の葉

このような場合におすすめです！

- ・作物に上記症状がみられる
- ・圃場内や圃場周辺にコナジラミ類が発生している
- ・マグネシウム(苦土)欠乏のようだが施肥管理で改善しない



オンシツコナジラミ成虫



タバココナジラミ成虫

検体の送付方法

常温便(夏季高温期はクール便)

ToCV 感染検査のみ

・地上部全体

症状がみられる植物体の地上部を袋に入れ密閉する。なお、地際の茎を切断する際は、清潔な刃物を使用し、切り口は十分湿らせたティッシュで包む。

ToCV 以外の病害も診断する場合

・根を含む株全体

土壌が茎葉部に付着しないよう、根を湿らせた紙で包んでビニール袋に入れ、更に株全体をビニール袋に入れ密閉する。具体的な手順は、「病害虫診断 検体の送付方法」をご参照ください。



検査の方法

【遺伝子検査】

ウイルスの遺伝子を PCR 法にて検出します。

注意事項

乾燥・枯死した検体は、検査できません。

報告書

- ・病原ウイルスの感染を検査したうえで、最適な対応策をご提案します。
- ・検体の受領から結果のご報告まで、7～10日程度かかります。

